

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内 1 丁目 3-30
TEL 088-821-2000
FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



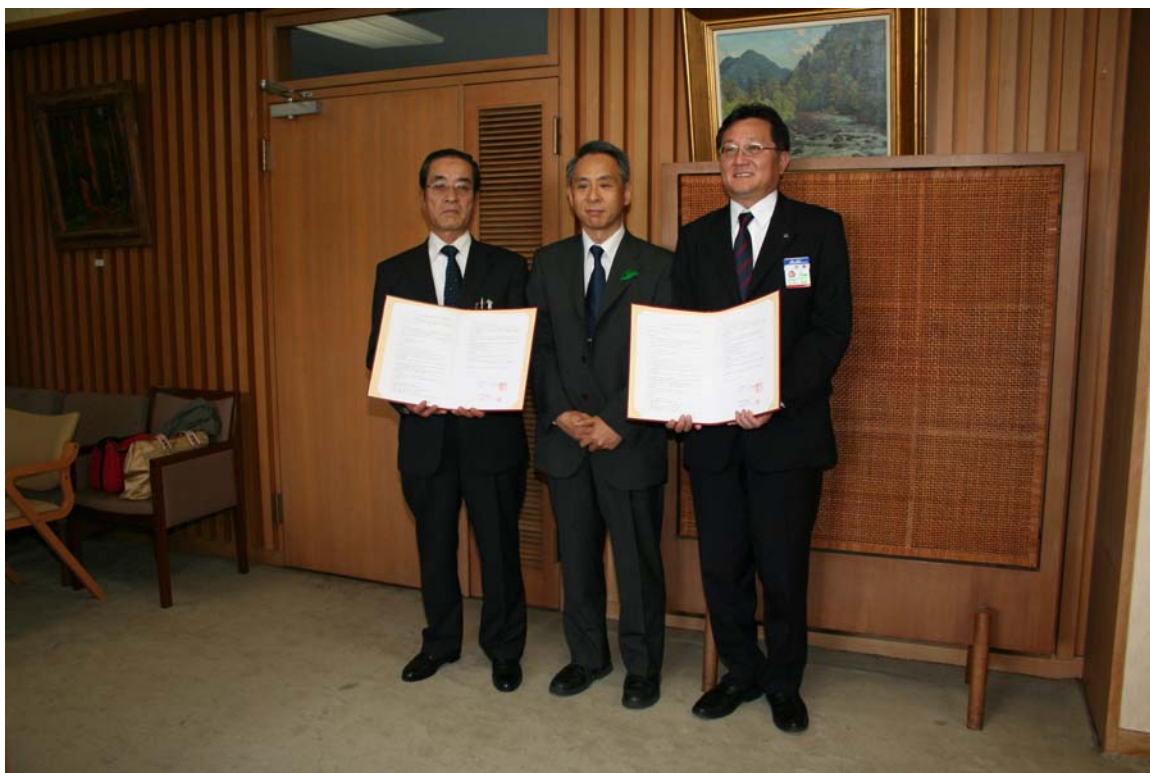
四国山の日

No.1083 2010 年 6 月号



アサヒビール(株)と工石山レクの 森管理運営協議会が協定締結

アサヒビール(株)高知支社が工石山の環境整備や保全活動に
資金や労力を提供することとなりました。



協定締結後篠田局長を囲んで

アサヒビール(株)高知支社
が工石山の環境整備や保全活動
に資金や労力を提供し、今後三
年間にわたり支援することとな
り、六月二日、四国森林管理局
で協定を締結しました。

協定締結式は、アサヒビール
(株)高知支社、工石山レクリ
エーションの森管理運営協議会
を構成する高知市と工石山を楽
しみながら良くする会、四国森
林管理局、嶺北森林管理署の関
係者により開催したところ、地
元のテレビ・新聞でもこの模様
が報道され、今後予定されてい
る自然保護の啓発看板の設置や
清掃活動などの取組が期待され
ます。

〈国有林野管理課・

嶺北森林管理署〉





六月四日、四国森林管理局で、今年度第一回目の技術開発委員会を開催しました。

技術開発委員会は、四国森林管理局技術開発委員会運営要領に基づき、森林生態学、林木育種、遺伝資源、民有林管理経営の専門家等の委員で構成されています。今回は平成二十一年度に実施した八課題の調査結果等及び二十二年度新規課題の「ニホンジカ囲いわなの研究」を加えた二十二年度の技術開発実施計画について審議をお願い意見を伺いました。

委員から、①「針広混交林に誘導するための溪畔林施業管理技術の確立」では、溪畔林が生態系に果たす役割の明確化、②「長期育成

循環施業に資する作業路作設手法の確立」では、これまでの研究成果を踏まえ民間と国有林の連携による研修の実施、③「ニホンジカ囲いわなに關する研究」では、民有林等でも利用できる開発をという意見が出されました。

今回頂いた意見等を踏まえて今後の試験地設定のあり方などを検討していくこととしています。



第1回技術開発会議



平成二十一年度を実施された治山・林道工事コンクール受賞者の表彰式が五月二十五日、高知商工会館で行われ、次の方々が受賞されました。

- ◎四国森林管理局局長賞表彰
〔治山部門〕
- 多田工業(株)
代表取締役 多田 裕
- 片田丸吉建設工業(株)
代表取締役 山崎秀治
- (有)金本組
代表取締役 金本花子
- 大旺新洋(株)
代表取締役 四宮 隆
- (有)西野建設
代表取締役 西野 桂
- (有)上西組
代表取締役 上西虎夫

- (株)晃立
代表取締役 嶋崎勝昭
- 沢良木建設(株)
代表取締役 沢良木基希

また、二月九日に林野庁において、表彰を受けた方々の披露も同時に行われました。

- ◎林野庁長官賞表彰
〔治山部門〕
- 湯浅建設(株)
代表取締役 湯浅雅文
- 〔監督職員〕
嶺北森林管理署(元安芸署)
農林水産技官 太田勝稔
〔現場代理人〕 佐竹和之
〔主任(監理)技術者〕 門田拓洋
- 〔林道部門〕
- 一若建設(株)
代表取締役 中畑健右
- 〔監督職員〕
四万十森林管理署(元愛媛署)



治山・林道工事コンクール受賞者

農林水産技官 相田弘道
〔現場代理人〕及び
〔主任(監理)技術者〕 酒井朝彦

「滑床山開き」で
森林教室
〈愛媛森林管理署
・ふれあいセンター〉

四月二十八日、足摺宇和海国立公園内の滑床溪谷で、松野町等主催の滑床山開きの神事が行われました。

これに併せて、遠足を兼ねて参加した地元の松野南小学校全校児童一三名を対象に、森林教室を実施しました。

まず、午前中は、愛媛署森林ふれあい係長から、「しいたけの作り方」を学習しました。松野南小では三月に愛媛署の指導で「しいたけのこま打ち」を行っており、今回は、しいたけができるしくみや収穫までの原木の管理について学習し、来年の秋には収穫できることを楽しみにしていました。午後は、滑床溪谷にある樹木について学習しました。



シイタケの作り方学習の様子

葉を燃やした時に「バリバリ」と音がするから「バリバリノキ」、皮を削るとサロメチールの匂いがする「ミズメ」など、ふれあいセンター職員から、樹木の名前の由来や木の特徴などの説明を聞きながら、溪谷沿いの遊歩道を雪輪の滝まで登りました。

当日は、山開きにふさわしく初夏を思わせる陽気の中、溪谷美に触れ、地元の人々や、森林の恵みに感謝するよい機会となったようです。

「八面山・ブナ林で
今シーズン最初の
森林教室」
〈ふれあいセンター〉

五月一三日、四万十市立口屋内小学校全校児童七名を対象に森林教室を行いました。

最初に、ニホンジカの被害を受け、当センターが森林再生に取り組んでいる四万十市西土佐にある黒尊山国有林で、現状や森林再生活動等について説明しました。その後、八面山の登山口へ移動して、準備体操の後登山を開始し、歩道沿いにある樹木の名前やミヤコザサがシカに食べられたり、ヒノキ等の樹皮が剥がされ枯れている状況を見ながらブナ林に到着しました。そこで、森・川・海のつながりについて勉強し、楽しいお弁当の後、林内探検とブランコでひとときを過ごしました。

最初に、ニホンジカの被害を受け、当センターが森林再生に取り組んでいる四万十市西土佐にある黒尊山国有林で、現状や森林再生活動等について説明しました。その後、八面山の登山口へ移動して、準備体操の後登山を開始し、歩道沿いにある樹木の名前やミヤコザサがシカに食べられたり、ヒノキ等の樹皮が剥がされ枯れている状況を見ながらブナ林に到着しました。そこで、森・川・海のつながりについて勉強し、楽しいお弁当の後、林内探検とブランコでひとときを過ごしました。



森・川・海について



子供たちからは、「森・川・海のつながりについて勉強ができてよかった」「ブランコが楽しかった」等の感想を聞くことができました。ブナ林周辺の樹々は、新緑の装いを呈しており、八面山での今シーズンの森林教室をスタートしました。

校庭で樹木学習
―待ちにまつた
森林教室―
〈ふれあいセンター〉

五月二十七日、愛媛県松野町立松野西小学校において、四年生二九名を対象に森林教室を行いました。これは四年生の「総合的な学習の時間」に組み入れられ、年間六回行う予定の森林教室の一回目として「木について知ろう」をテーマに行ったものです。

今年度は雨天続きで延期になりました。今年度は雨天続きで延期になりました。始めに、ふれあいセンターの活動についての説明を行いました。児童たちは滑床山「通称三本杭」において、ニホンジカに食べ尽くされた「ミヤコザサ」やヒノキの樹皮が剥がれた様子や大道マツが松食い虫によって枯れた写真を見て、山